



三上社長にきいてみた。

## シリーズ「まちづくり考」 その1

### ～魅力度7年連続最下位「茨城」のイメージアップ戦略～

今号から新連載企画「まちづくり考」がスタートします！

このシリーズは、様々な観点から三上社長のまちづくりへの考えを聞いていくコーナーです。

価値観は人それぞれなので、この記事を読んで共感する方、少し違う意見を持つ方、中には大きく違う意見を持つ方もいらっしゃるかと思います。その多様性を大切に、異なる意見を持つ方同士、積極的に意見を交え、互いに新たな価値観に触れるきっかけとなれば嬉しいです♪

#### 1. 魅力度ランキング最下位

毎年発表される「魅力度ランキング」。茨城県は7年連続最下位。しかも過去11回中10回目だ。今まで県を挙げて全県のPRを実施し、随所で「茨城」という名前にこだわったセールスを実施してきたが、それでもここまで最下位が重なるということは、抜本的に今までとは違うアプローチが必要である、ということだ。

#### 2. 他県の名前で売ってます

茨城県には素晴らしいコンテンツが沢山あるが、それを茨城の名前で売ることが出来ていないのが問題だ。フィルムコミッションによるロケ支援作品数は断トツで全国1位だが、完成品を映像で見ると、他の地域の場面として扱われている。美味しい栗を生産するが、とら屋や小布施の栗羊羹として売られている。茨城の誇る常陸秋そばは、信州蕎麦の材料になっている。水戸学のお蔭で西郷どんも松陰も龍馬も走り出すことが出来たのだが、明治維新のお手柄は全て薩摩長州土佐のものだ。情けないことこの上ない。

#### 3. 自虐的ふるさと観

このような状況の中で、茨城人の中には「究極のマイナー感を楽しもう」などと言い出す不屈き者も出ている。曰く「最下位が実は一番宣伝効果が高い」。曰く「究極のマイナーさを卑下せず積極的に楽しもう」。ここまで自虐的だと返す言葉もない。一方で、様々な場面で「茨城」の名をどんどん押し出していこう、という発想もあるが、イメージの悪いものを連呼しても、それって却ってマイナスだ。

#### 4. それではどうする？

魅力度アップに向けて、茨城人にとって大切なことは、まずは自虐的ふるさと観を捨て、故郷に「誇り」を持つことだ。多くの茨城人は故郷について、悪く言う。でも、褒められると嬉しい。ならば、良いところをしっかりと見つめ直し（故郷の良さが分かっていない人が多い）、自分自身の個性の一部として、誇りを持つことが大切だ。

それから、「ないものねだり」をなくすこと。今あるものを使って、暮らしの豊かさに繋げる工夫が大切だ。その土地の人々さえも使わない地域資源を、他の地域の人に使ってもらおうなんて、無茶な話だ。まずは、その土地の人々が、その土地の資源、衣食住を満喫すること。それによって、その土地と、その土地の人々が光り輝くことが大切。観光とは「光を観る」という意味だ。その土地と人々が光り輝いていないのに、他の地域の人に来てもらおうとか褒めてもらおうなんて、あり得ない話だ。

衣食住を満喫する、とは、その土地の人々が、その土地で勝手に楽しんでいる姿を示すことでもある。欧州の街をイメージするとよく分かる。古城の中をご老人が元気に犬の散歩をしている。綺麗な街並みのカフェからはみ出した歩道のパラソルの下で、若い男女が楽しげにコーヒーを飲んでいる。夕方になると少し着飾ったご婦人が、ニコニコしながら近所のオペラハウスに向かう。その土地の資源を使い倒し、自分たちの暮らしぶりを見せている。そんな姿、そんなライフスタイルの一つ一つ、日常の当たり前が、絵になっている。それはそれは、とても魅力的だ。

ところで皆さんは、魅力度ランキング第1位の北海道をご存じであろうか。札幌、函館、小樽、旭川、釧路、帯広、苫小牧・・・有名だ。ところが、北海道には全部で179の市町村がある。場所も名前も分からない都市が沢山ある。それでも魅力度ナンバー1。同じようなことが、第2位以下の京都、東京、沖縄、神奈川などにも言える。これはつまり、広域の都道府県のイメージなんて誰も持ってはいない、ということだ。いくつかの素晴らしい都市・スポットが、より広域の、集合体としての都道府県のイメージになっているだけだ。「茨城」を連呼するのではなく、評判の良い都市・スポットに焦点を当て、そこを重点的にアピールすることが、茨城県のイメージ全体を引き上げることになる。

以上をまとめると、まずは内向きの、茨城県人向けのPRが大切になる。県内の資源を再発見し、磨いた上で、例えば『みんなで茨城の衣食住を満喫しよう』キャンペーン。自分たちの資源を満喫している、そんな日常を魅せることが大切だ。外向きには、良いもの、良い都市、良いスポットのみをしっかりとアピールすること。茨城県を例に考えたが、一つひとつの都市についても、このイメージアップ戦略は効果的である、と考える。

みんなならどう考える？

